

瀬戸市公共施設白書



平成 27 年 7 月

令和 4 年 3 月 (改定)

目次

第1章 白書の位置付け等	1
1. 白書の目的.....	1
2. 白書の位置付け.....	1
3. 対象施設.....	2
4. 対象地域.....	4
第2章 現状と課題の把握	5
1. 施設の現状と課題.....	5
1-1. 施設の現状と課題.....	5
1-2. 用途別の公共建築物延床面積の割合.....	6
1-3. 用途別の公共建築物延床面積の変遷（面積ベース）.....	7
1-4. 一人当たり公共建築物延床面積の比較.....	8
2. インフラ資産の現状.....	10
3. 人口の現状と課題.....	12
3-1. 市全体の人口の推移.....	12
3-2. 地区別人口.....	13
4. 財政の現状と課題.....	14
4-1. 歳入の推移・内訳.....	14
4-2. 歳出の推移・内訳.....	15
4-3. 市債残高額の推移.....	16
4-4. 投資的経費の推移.....	16
5. 公共施設等の更新費・大規模改修費の将来見通し.....	17
5-1. 公共建築物の将来見通し.....	17
5-2. インフラ資産の将来見通し.....	19
5-3. 公共施設等の将来見通し.....	20
5-4. 公共建築物の将来見通しと投資的経費との比較.....	21
第3章 課題整理（分野別）	21
1. 学校施設.....	25
1-1. 施設状況.....	25
1-2. 児童・生徒数状況.....	27
2. 保育施設.....	29
2-1. 施設状況.....	29
2-2. 利用状況.....	31

2-3. 民営化状況.....	31
3. 生涯学習施設.....	32
3-1. 施設状況.....	32
3-2. 公民館利用状況.....	34
3-3. 地域交流センター利用状況.....	34
3-4. 中学校区ごとの集会所の延床面積.....	35
3-5. 図書館（本館）利用状況.....	35
4. 文化施設.....	36
4-1. 施設状況.....	36
4-2. 利用状況.....	37
5. 福祉施設.....	38
5-1. 施設状況.....	38
5-2. 利用状況.....	39
6. 公営住宅施設.....	40
6-1. 施設状況.....	40
6-2. 入居状況.....	41
7. 行政施設.....	42
8. プラント系管理施設.....	44
9. 用途廃止済み施設.....	46
第4章 まとめ.....	47

第1章 白書の位置付け等

1. 白書の目的

本市では、昭和20年頃から徐々に人口が増加し、昭和47年には初めて人口が10万人を突破、平成8年には13万人を超えました。人口の増加に伴う需要追隨的な公共建築物やインフラ資産の整備により、本市が保有する公共施設等は年々増加し、これまで市民サービスを支える基盤として、その機能を果たしてきました。しかしながら、本市が保有する公共建築物の約5割が既に完成後40年以上を経過する等、公共施設等の老朽化が課題となっています。

一方で、全国的な都市課題である人口減少・少子高齢化の進展は、本市においても見られています。平成22年をピークに人口は減少に転じ、また年少・生産年齢人口割合の減少に対し、老年人口割合は増加しており、税収の減少が予測される中、社会保障費は年々増加しています。これに加え、老朽化した公共施設等は更新の時期を迎え、それらの更新費用が本市の財政運営の課題となっています。

現状のまま多くの公共施設等を保有し続けることは、将来世代への負担が増加することが懸念されるばかりでなく、真に必要な公共サービスの維持さえも困難になる恐れがあります。健全かつ持続可能な財政運営を行い、子や孫の世代など将来の市民に良好な公共サービスを提供するためには、公共施設等を経営資産と捉え、新たな収入源と認識した運用や財政支出を抑制するためのコスト縮減方策が必要であり、その方策について、引き続き検討を行い、その取組を進めていかなければなりません。

以上のことから、本市が保有する公共施設等の現状と課題の整理を行い、本白書により「見える化」しました。公共施設等の現状と課題についての共通理解を深め、今後の公共施設等のあり方について共に考えていくために、公共施設白書を策定しました。

2. 白書の位置付け

本白書は、平成27年7月策定の前回白書以降に整備された固定資産台帳のデータ等を活用し、公共施設等の現状を把握するための基礎資料として策定しています。今後は、本白書を踏まえ、「公共施設等総合管理計画（インフラ資産を含む）」の更新を行い、公共施設等マネジメントのあり方について検証を行います。また、今後も随時、施設情報の集約に努め、市民の皆様へお知らせします。

3. 対象施設

本白書の対象施設は、市が保有する公共施設等のうち固定資産台帳に掲載された公共建築物及びインフラ資産とし、以下に示す258施設（延床面積約35.1万㎡）、道路、橋りょう、上水道、下水道及び公園を加えたものを対象とします。

また、本市に関連する機関（一部事務組合）の保有する施設についても、その運営や施設の維持管理に関する費用負担等、財政的な視点で関連性が高いことから参考（関連施設）として掲載します。

図1-1 対象範囲

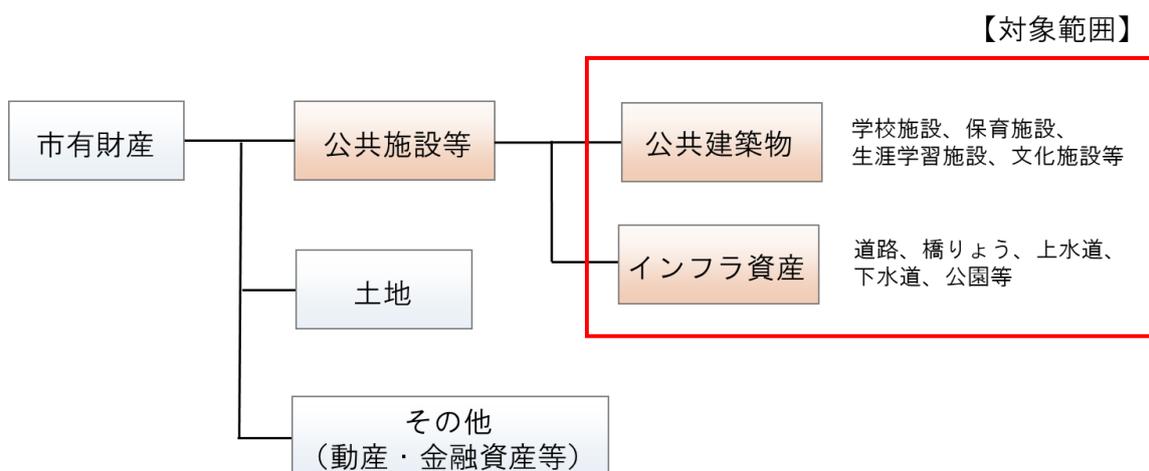


図 1-2 対象施設一覧表

大分類	中分類	施設数	延床面積 (㎡)	延床面積 構成比率(%)
学校施設	学校	22	148,321	42.2%
	給食センター	1	1,630	0.5%
保育施設	保育園	16	12,902	3.7%
生涯学習施設	コミュニティ施設	65	26,070	7.4%
文化施設	産業振興施設	5	6,564	1.9%
	文化施設	14	35,718	10.2%
	レクリエーション施設	7	13,024	3.7%
福祉施設	福祉施設	8	9,902	2.8%
公営施設	市営住宅	10	9,500	2.7%
行政施設	市役所・出張所	7	14,462	4.1%
	消防・防災施設	54	5,920	1.7%
プラント系施設	環境施設	8	29,701	8.5%
	管理施設	31	2,765	0.8%
用途廃止済み施設	学校（用途廃止）	7	32,478	9.3%
	保育園（用途廃止）	2	1,442	0.4%
	福祉施設（用途廃止）	1	705	0.2%
合計		258	351,104	100.0%

※固定資産台帳（令和2年4月1日時点）より算出

※合計は端数処理による誤差あり

<参考> 図1-3 市関係機関の所有する施設

大分類	中分類	施設数	延床面積 (㎡)
その他関連施設	医療施設	1	80,245
	ごみ処理施設	4	17,020
	看護専門学校	1	4,958
合計		6	102,223

※公有財産台帳（令和2年4月1日時点）等により瀬戸市集計

※合計は端数処理による誤差あり

<参考>

令和2年4月1日時点の延床面積は、前回、公共施設等総合管理計画を策定した際の基準日である平成28年3月31日時点と比較すると増加しており、これは、にじの丘学園等の建設によるものです。しかし、用途廃止済みとなった施設が約3.5万㎡あり、その分を考慮すると、実際に利用されている施設の延床面積は減少しています。

<参考> 図1-4 対象施設一覧の比較

大分類	平成28年3月31日時点		令和2年4月1日時点	
	大分類 延床面積(㎡)	延床面積 構成比率(%)	大分類 延床面積(㎡)	延床面積 構成比率(%)
学校施設	166,818	48.6%	149,951	42.7%
保育施設	14,317	4.2%	12,902	3.7%
生涯学習施設	23,775	6.9%	26,070	7.4%
文化施設	57,170	16.7%	55,305	15.8%
福祉施設	10,524	3.1%	9,902	2.8%
公営施設	11,853	3.5%	9,500	2.7%
行政施設	21,655	6.3%	20,382	5.8%
プラント系施設	36,867	10.7%	32,466	9.2%
用途廃止済み施設			34,625	9.9%
合計	342,979	100.0%	351,104	100.0%

※「瀬戸市公共施設等総合管理計画」、固定資産台帳（令和2年4月1日時点）より算出

4. 対象地域

本市は、北部及び東部に広がる豊かな山林に囲まれた山間部、名鉄瀬戸線及び愛知環状鉄道沿線の市街地など、生活環境は地域によって大きく異なり、日常生活における活動形態もまた、地域によって異なるものと想定されます。

本白書では、地域の生活環境の特性を鑑み、日常生活における活動区域の単位を中学校区と仮定し、以下に示す8つの中学校区で施設の現況分析を行います。

学校区の面積は、品野中学校区など、山間地域を含む郊外部で大きく、人口密度については、光陵中学校区で高い状況となっています。

図1-5 中学校区区域図



図1-6 各中学校区の概要

中学校区	面積 (k m ²)	人口 (人)	人口密度 (人/k m ²)
にじの丘学園学区	24.8	16,287	2,644
旧本山中学校区	2.9	6,352	2,190
旧祖東中学校区	21.9	9,935	454
水無瀬中学校区	4.0	19,112	4,778
南山中学校区	4.3	29,069	6,760
水野中学校区	16.5	17,431	1,056
光陵中学校区	1.5	11,323	7,549
品野中学校区	42.1	10,824	257
幡山中学校区	18.3	25,050	1,369
合計	111.5	129,096	1,158

※GISシステム、瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口（令和3年4月1日時点）より算出

※面積は実際の面積と誤差が生じています。